

## 令和3年度 二戸地域県立病院運営協議会 開催結果（要旨）

### 1 開催日時

書面開催による 意見等回答期間 令和4年2月7日（月）から2月21日（月）

### 2 開催場所

書面開催による

### 3 議事等

#### (1) 委員紹介

#### (2) 会長及び副会長の選任について

事務局提案の会長（二戸市長）、副会長（二戸保健所長）について、満場一致にて承認された。

#### (3) 議事

①二戸地域における県立病院の運営について

②その他

[質問・意見等]

#### ○ 佐藤勝子委員

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策の徹底を図り、患者さんを中心に対応して戴きありがとうございます。私は、総合病院の中に産婦人科があるのは有難い事ですが、減少になっているのが残念です。今、全体に生まれてくる子供の数が少ないし、周りには新しくきれいな若い人が好まれる様な個人病院がたくさんあるし、選ぶのは自由ですけど、私自身分娩は何があるかわからないと云う事で小児科や内科のある病院を選びましたし、実際に小児科や内科にもお世話になりました。対応が早かったのが今があると思っています。どうぞ安心・安全な病院、若い人達にも好まれるようなサービスを考えて、若い人達に利用して戴ける様願っています。命を守るためにも必要な科ですので続けていってほしいです。

(回答)

【医療局】医療局では、産科・小児科を専攻する奨学金養成医師が優先して地域周産期母子医療センターで診療することを認める特例を設けているほか、令和2年度からは、将来産婦人科を志す私立大学の医学生に対し、医療局医師奨学資金に産婦人科特別枠として2名分の奨学金枠を設け、産婦人科医の確保に向けて取り組んでいます。

産婦人科の医師の配置については、医師の派遣元である関係大学の医局においても医師の絶対数が不足していることから、大変厳しい状況となっていますが、今後とも、関係大学への派遣要請のほか、即戦力となる医師の招へいなどの取組により、常勤医師の確保及び産科の維持に努めます。

【二戸病院】当院では現在、院長含め6名の産婦人科医が在籍し、二戸・久慈圏域の周産期医療を担っております。総合病院に設置される産婦人科として、お住まいの地域で安心してお産ができるよう、今後も小児科等各科と連携しながら、継続した安心・安全な専門的医療の提供に努めてまいります。

○ 佐藤美沙子委員

①患者数の減少は高齢化もあると思いますが、県立病院にかかるには、紹介状もしくは二戸病院ですと2,200円かかるとか、皮膚科・耳鼻科・呼吸器科の場合には紹介状なしでは受け付けてもらえないとか、いろいろルールがある為、個人病院に殺到してしまうため患者数が少なくなっているのではないかと、素人の考えでは思えてしまいます。

(回答)

【二戸病院】急速に進む少子高齢化の課題に対し、国では、住み慣れた地域で最後まで自分らしく過ごせるよう医療や介護等が一体的に提供される体制（地域包括ケアシステム）の構築を目指しています。医療分野においても、かかりつけ医と入院治療といった機能分化を図ることで、地域の医療を守ることを目的とした制度となっておりますので、ご理解いただければ幸いです。今後も入院治療や救急医療等を中心とした高度医療を提供していくよう努めてまいります。

②赤字経営をなくす方法が、地元に住んでいる私達で何か協力出来ることがあれば、教えてほしいと思います。

(回答)

【二戸病院】地域の人口減少や高齢化に伴い患者数は年々減少の方向にあり、当院におきましても、平成27年の病床数の見直しや令和元年の地域包括ケア病棟導入等経営改善に努めております。引き続き圏域の基幹病院としての機能を担うため、圏域の医療機関や福祉・介護施設と連携しながら適切な経営に努めて参りますので、地域の皆様におかれましては、かかりつけ医をお持ちになるなどの適正受診や感染防止対策にご協力いただくようお願いいたします。

○ 八森百合子委員

日々のお仕事に感謝申し上げます。

以上